

定例記者懇談会次第

令和元年11月28日(木) 午後1時15分
牧之原市役所榛原庁舎 5 階庁議室

1 開 会

2 市長説明

最近の市政運営の状況について

令和2年新春顔合わせ会について……………資料1

3 その他主な報道提供資料

- 川崎絆づくり「第30回緑の環境プラン大賞」コミュニティ大賞受賞と整備について
- 令和元年度 牧之原市地域防災訓練について
- 令和元年度静岡県消防協会榛原支部地震等対策研修会について
- 令和元年度榛南一市一町住民安全大会開催について
- 2020New Year ジョグの集い in 静波について
- 第2回まきのはら健康大学 認知症予防講演会について
- 公民連携リノベーションまちづくり第3回講座について
- まきのはら初詣祈願式について

4 懇 談

5 閉 会

次回記者懇談会 1月9日(木) 午後1時15分～

令和 2 年新春初顔合わせ会について

市の行政関係者、各種団体及び企業の代表者などが一堂に会し、年頭のあいさつを行います。

会場では、静岡牧之原茶、市内のお菓子などを紹介しながら、市の発展に向けた交流、連携、協働の促進を図ります。

また、市の各分野における功労者への表彰を執り行います。

1 日 時

令和 2 年 1 月 6 日（月） 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

2 会 場

うおとも（牧之原市地頭方 1581 番地 50） ☎0548-58-0500

3 参加者（予定）

約 260 名（昨年度出席者 257 名）

（1） 牧之原市

市長、副市長、教育長、理事、部課長級ほか

（2） その他

衆議院議員、参議院議員、県議会議員、市議会議員、市内官公署関係者、教育関係者、報道関係者、区長、執行機関委員、市内企業関係者、各種団体関係者ほか

4 内 容（予定）

- （1） 牧之原市表彰
- （2） 市長あいさつ
- （3） 市議会議長あいさつ
- （4） 来賓あいさつ（国会議員、県議会議員）
- （5） 歓談
- （6） 閉会

5 その他

会場では、静岡牧之原茶、市内菓子店のお菓子などを紹介します。

(施策、イベント、行事等の名称)		問い合わせ先
川崎絆づくり「第 30 回緑の環境プラン大賞」コミュニティ大賞 受賞と整備について		牧之原市 建設部 都市計画課 担当：大石 電話：0548-53-2633 （直通）
日 時	令和元年 1 1 月 2 8 日（木）午後 3 時 0 0 分から（市長への受賞報告）	
場 所	牧之原市役所 榛原庁舎庁議室	
主 催 者 又は担当課	都市計画課	
(内容)		
概 要	榛原児童館・せせらぎ公園に隣接した榛原資料館跡地（650 m ² ）の利活用を考えようと、川崎絆づくりのみなさんが中心となり、ワークショップ等話し合いを重ね、本年 6 月に「第 30 回 緑の環境プラン大賞 ポケットガーデン部門」に応募し、この度、コミュニティ大賞の受賞が決定した。応募したプランをもとにコンセプトである「育む庭」を整備する。	
「第 30 回緑の環境プラン大賞」		
目 的	全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等を図るものです。	
主 催	公益財団法人都市緑化機構・一般財団法人第一生命財団	
受 賞	第 30 回緑の環境プラン大賞 ポケットガーデンの部 コミュニティ大賞	
表彰式	令和元年 1 1 月 2 5 日（月）明治記念館（東京都港区）	
表彰式参加者	川崎絆づくり 代表者 片瀬紀子 川崎絆づくり 澤島千温 随 行 都市計画課 大石	
(添付資料)		
・第 30 回 緑の環境プラン大賞の概要、受賞団体 ・受賞したプランのイメージ図		

第30回 緑の環境プラン大賞 の概要

■ 目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等を図るものです。また、東京都内を対象として「おもてなしの庭」プランを公募し、優れたプランを表彰・助成することで、花と緑で観光客を迎えるおもてなし空間の創出を図ります。

■ 募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	地域のシンボリックな緑地として、緑のもつヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集します。
特別企画 「おもてなしの庭」	東京都限定	2020年に向けた特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする魅力ある緑の創出、およびその場所でのおもてなしの活動に関するアイデアを盛り込んだプランを東京都内限定で募集します。

■ 表彰

● シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞800万円以内（工事に対する助成金）
緑化大賞	2点程度	副賞800万円以内（工事に対する助成金）

● ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞100万円以内（工事に対する助成金）
コミュニティ大賞	9点程度	副賞100万円以内（工事に対する助成金）

● 「おもてなしの庭」プラン

おもてなしの庭大賞	1点	副賞2,020万円以内（工事及び活動に対する助成金）
-----------	----	----------------------------

■ 審査委員

委員長	進士 五十八	福井県立大学 学長 / 東京農業大学 名誉教授
委員	金子 忠一	東京農業大学 教授
	北村 知久	国土交通省 都市局長
	鈴木 裕一	株式会社産業経済新聞社 上席執行役員
	永山 妙子	マネジメントコンサルタント
	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
	村上 暁信	筑波大学 システム情報系 教授
	稲垣 精二	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	小野 文夫	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	高梨 雅明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■ スケジュール

募集期間	2019年4月1日～6月30日	入選発表	2019年10月11日
審査会	2019年9月19日	表彰式	2019年11月25日 於：明治記念館

■ 主催等

主催：公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
 後援：国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、東京都（おもてなしの庭）
 特別協賛：第一生命保険株式会社
 協力：一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本公園緑地協会、
 一般社団法人日本造園建設業協会、都市緑化基金等連絡協議会
 株式会社フジテレビジョン、株式会社産業経済新聞社、株式会社ニッポン放送

第30回 緑の環境プラン大賞 受賞団体

応募総数56件、審査会：2019年9月19日

◎国土交通大臣賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	藝大上野キャンパス 上野と谷根千をつなぐみちひろば (東京都台東区)	東京藝術大学 キャンパスグランド デザイン推進室	上野公園と谷根千エリアをつなぐ通りに、誰もが歩いて楽しい「みちひろば」をつくる。四季折々の表情を見せる花木により、キャンパスの境界をやわらかな親しみのあるものへと改善し、景観向上とともに道路際に休憩スペースを設け地域を結ぶ空間づくりを行う。	
ポケット・ガーデン	地域の文化遺産の 庭園を活用した 交流と体験の広場 (茨城県つくば市)	特定非営利 活動法人 ヤナカノモリ “矢中の杜”の 守り人	国登録有形文化財「矢中の杜」の庭園の一部を整備し、地域住民や地元の子供たち、観光客などが緑に囲まれた空間で交流し、草花や土、木に触れながら楽しく様々な体験ができる広場を作ることを目的とする。	

◎緑化大賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	青山通り 緑のおもてなし 風景街道 (東京都 渋谷区・港区)	特定非営利 活動法人 渋谷・青山 景観整備機構	青山通りが世界に誇れる美しい街路空間となることを目指し、街路の植込みを中心に、宿根草やグラスを組み合わせた統一したデザインの植栽を施す。魅力的な緑化景観をつくるとともに、そのメンテナンスを地元住民や企業社員のボランティアが担うことで、地域づくりに取り組む。	
シンボル・ガーデン	みなが出会い・育み・ 共に生きる 「みのりの緑地」 (兵庫県神戸市)	特定非営利 活動法人 こどもコミュニティケア	保育園、障がい児デイサービス、介護施設が共存する区画に「みのりの森」をテーマにした緑化空間を創出する。多様な人々が共有できる緑空間をちりばめ、“みのりの回廊”として結ぶ。地域の方々との協働管理を通じ、障がいや疾病の人々が共に生きる地域社会づくりにとりくむ。	

◎コミュニティ大賞 [9点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	樹齢140年 江南の藤・藤棚リフレッシュプロジェクト (埼玉県熊谷市)	江南の藤保存会	樹齢 140 年の県内最大級の藤を支える藤棚は、老朽化が進み、525 m ² にも広がった枝の剪定作業などに危険を感じる状態になっている。この貴重な江南の藤保存に不可欠な棚の改修工事を、自然の多様性啓発に結びつけ、市民に広報・公開していくのが今回の事業。	
ポケット・ガーデン	かしわ・みんなの杜 (千葉県柏市)	社会福祉法人 ぶるーむ	道路拡幅工事により喪失した林縁・林床植生の復元を図るとともに、障がいをもった子供を含むすべての地域の子供たちや住民に森を楽しんでもらえるよう、五感で楽しめる計画としている。また、密集住宅地内に唯一残存する森林として在来種のみを植栽し、地域の生態系に配慮した計画としている。	
ポケット・ガーデン	海辺の森 花咲く小路 プロジェクト (新潟県新潟市)	NPO法人森の会	海辺の森は、120ha という広大な保安林内に総延長 8.4 kmの遊歩道がある。拠点となるキャンプ場内の単調な遊歩道沿に四季を彩る花壇を整備し、地域住民はもとより、訪れる観光客・キャンパーに「来る人に感動を！ 去る人に幸せを！」をフレーズとした花咲く森をつくる。	
ポケット・ガーデン	エリア3プロジェクト ～みんなで育み 集う場所～ (静岡県牧之原市)	川崎絆づくり	「みんなで育む場所」をコンセプトに、空き地を利用し、季節の草花が咲く「彩の庭」、心地よい香りで癒され楽しむ「かおりの小路」、芝生の上で寝転んだり絵本を読んだり、マルシェを開いたり、いろいろな楽しむことができる「賑わいみどりの広場」を、作業ごとに多くの人の参加を得ながらつくっていく。	
ポケット・ガーデン	花と緑で繋がる テラス 「重利の里山公園」 (京都府亀岡市)	シゲトシ 重利の山を守る会	住宅近辺の人工林を住民が自ら間伐し、山全体を公園化する目的で整備している。今回は、山の入り口部分を花と緑のテラスにして、季節の花に囲まれたオープンカフェを開催し、地域のお年寄りから子供まで、誰もが気軽に集え元気になれるコミュニティの場にしたい。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概 要	
ポケット・ガーデン	食と植のまちにわ (大阪府柏原市)	大正通り商店街 サポーターズ	商店街の中心に位置する空き家が、広場をともなう複合施設に再生される。その広場の一部を無償で借り受け、食べられる植物・加工できる植物を含む緑を整備し、子供たちと近隣住民・商店主が交流・食育・ものづくりを行い、地域と親しむ場所とする。	
ポケット・ガーデン	世界文化遺産 姫路城中曲輪 バタフライガーデン 創造事業 (兵庫県姫路市)	兵庫県 姫路市立 ハクロ 白鷺小中学校	学校と地域の協働で、姫路城の眼前に 400 年前のジャコウアゲハの飛び交っていた風景を再現する。名称を『中曲輪バタフライガーデン』とし、地域はもとより、姫路市とも協力して年間 200 万人の観光客を対象に、蝶の生態観察の行える新たな体験型の観光スポットを創造し、地域活性化につなげる。	
ポケット・ガーデン	花と緑で 人とまちをつなぐ、 保育園とつくる公園 (福岡県福岡市)	フルコガラス 古小鳥公園 愛護会	コンクリートを剥がし、緑の面積を増やすことで全体を明るい雰囲気にするとともに、ヒートアイランド現象の緩和効果も期待している。また、行政・保育園・地域と協力し、誰でも参加できることを大切にする。花だけでなく、小さな畑や果樹園をつくり、地域の子供たちと学びあえる環境を作る。	
ポケット・ガーデン	身近な自然に触れ 道行く人と鳥や虫が 憩う花と緑の広場 (沖縄県沖縄市)	社会福祉法人 愛の泉保育園	「花のようにやさしい子を育てる」(花を通してやさしい心を育てたい)という理念のもとに、園内外を県産の草花で彩り、自然に親しみながら季節の魅力や変化を楽しめる園庭整備を行う。また、みどりを通じて、子供たちや道行く人々の笑顔を誘い、良質な保育環境の創出及び地域との交流を目指す。	

◎「おもてなしの庭」大賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概 要	
特別企画 「おもてなしの庭」	匠の庭師が 日本庭園文化を 世界に発信 (東京都港区)	一般社団法人 日本造園組合連合会	多くの観光客が訪れる芝公園に日本庭園の伝統の技と江戸園芸文化を気軽に鑑賞・体験できるおもてなしの庭を創出する。 2020 年東京オリンピック・パラリンピック時には、庭技のパフォーマンスや竹の花火の飾りで国内外のお客様をもてなし、はなやいだ雰囲気を演出する。庭園文化や技術の発信とともに、その伝承を目指す。	



令和元年度 牧之原市地域防災訓練について

1 目的

自分と家族の命は自ら守る「自助」と、皆で助け合い支えあう「共助」を自らの意志と判断に基づいて行動し、ブロック塀の点検及びハザードマップの確認、中学生など若い世代の訓練参加促進や、要援護者の避難支援体制の確立及び情報伝達体制の手段を明確にするなど、地域防災力の一層の向上を図る。

2 実施日時

令和元年 12 月 1 日（日） 呼集時 ～ 午前 11 時 50 分頃

3 訓練想定

勤務時間外に、駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、牧之原市内において震度 7 を観測。建物倒壊や地盤の液状化、火災等が発生。間もなく大津波が襲来し、沿岸部を中心に著しい被害を受ける。

4 訓練スケジュール

時間	情報伝達手段	内容
11 月 30 日（土） 午後 7 時 30 分	同報無線	訓練事前周知及び参加呼びかけ
12 月 1 日（日） 午前 6 時 50 分	同報無線	訓練広報（実施・中止）のお知らせ 訓練参加呼びかけ
午前 9 時 00 分	同報無線 サイレン吹鳴（1 分間）	地震発生「震度 7」の合図 ※各自主防災会による訓練開始
午前 9 時 05 分頃	同報無線 緊急速報メール	「大津波警報」発表 緊急速報メールの配信
正午頃	同報無線	市長訓練講評 訓練終了

5 医療救護訓練（救護所運営訓練）について

（１）場所 牧之原コミュニティセンター

（２）参加者

牧之原市救護班、三師会（医師会、歯科医師会及び薬剤師会に所属する牧之原市関係者）、牧之原市災害時医療協力ボランティア（看護師等）、看護協会、牧之原地区住民（中学生含）、榛原総合病院（救護病院）、吉田消防署、バイク隊、無線ボランティア

（３）訓練内容

ア 参集訓練

イ 避難所併設救護所運営訓練

ウ 救護班の情報管理・体制管理（情報統制、搬送）

エ トリアージ・処置・搬送の訓練

オ 地域住民への救護所運営啓発

カ 救護所と榛原庁舎（医療救護本部）の情報伝達訓練

（４）特徴

ア 牧之原区における救護所開設訓練の検証

イ 三師（医師・歯科医・薬剤師）、住民、行政の連携した訓練

ウ 中学生の訓練参加（搬送役、緑エリアの処置介助役）

エ 牧之原地区への災害時の医療活動についての啓発

※市長は 10 時頃医療救護訓練（救護所運営訓練）を視察予定

(施策、イベント、行事等の名称)		問い合わせ先 牧之原市総務部防災課 担当：加藤・桑原 電話：0548-23-0057 (直通)
令和元年度静岡県消防協会榛原支部地震等 対策研修会について		
日 時	令和元年 1 2 月 1 日（日） 午後 2 時～午後 5 時	
場 所	牧之原市役所 榛原文化センター 3 階大会議室	
主 催 者 又は担当課	静岡県消防協会榛原支部	
静岡県消防協会榛原支部は牧之原市消防団、吉田町消防団、川根本町消防団で構成されています。 消防団は火災対応だけでなく、地震や風水害などの災害対応など、地域防災の中核を担うため、本支部では毎年、地震対策等研修会を開催しています。 本年度においては、大規模災害時における避難所運営について学び、地域のリーダーとして、避難所運営に携われる団員を育成します。 研修内容 避難所運営ゲーム「HUG」 参加者 牧之原市消防団 吉田町消防団 川根本町消防団 合計約 5 0 人 講師 牧之原市防災課 西原総括主任 静岡県消防協会榛原支部 支部長 牧之原市消防団長 伊藤正哉 副支部長 吉田町消防団長 河野浩志 支部事務局 牧之原市防災課		
(添付資料)		
なし		

令和元年度榛南一市一町住民安全大会開催について

1 日時

令和元年 12 月 14 日（土曜日） 午後 1 時 00 分から午後 3 時 30 分

2 場所

牧之原市相良総合センター い〜ら

3 主催

牧之原市・吉田町・榛南交通安全対策連絡会・榛南防犯協会

4 事業目的

榛南一市一町では、行政・警察・住民・その他関係機関が連携して交通事故防止及び犯罪抑止活動、暴力追放及び銃器根絶運動等を展開しております。

この大会は、一人一人が交通安全・防犯意識を高めることに加え、行政・警察・住民・その他関係機関が団結をより強固とし、一体となった地域ぐるみの活動により交通事故、犯罪、暴力団と銃犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的として開催します。

5 大会次第

- (1) 開会（吉田町長）
- (2) 交通事故及び犯罪被害により亡くなられた方に対する黙祷
- (3) 主催者あいさつ（牧之原市長）
- (4) 表彰（交通指導員勤続・交通安全功労・防犯功労・ポスター優秀作品）
- (5) 来賓あいさつ
- (6) 講演会
講 師：はいなん自動車学校 宮内正修 氏
演 題：『身近に潜む交通の危険』
- (7) 静岡県警音楽隊コンサート
- (8) 白バイ走行実技披露（雨天中止）

6 事前申し込み

不要

7 問い合わせ先

牧之原市防災課（電話：23-0056）

2020

New Year

ジョグのつと

in Shizunami

沿岸部活性化プロジェクト

2020年1月1日(水)

元旦 朝7時スタート ※雨天中止

新年
初走

新年を祝い決意新たに
心地よい汗を流しませんか

エースワン

静波中央

国道150号

勝間田川

静波リゾート
スウィングビーチ

受付会場

駐車場

※川沿いのエリアにご集合ください

【会 場】 静波海岸 特設コース

【種 目】 Fun Run(2.5km・5km)

【受 付】 午前6時15分～

【参加料】 500円

～参加者には あたたかい「豚汁」「おにぎり」等を振舞います～

- 事前申込み不要です。当日は直接受付会場へお集まりください
- 早朝ですので、体調には十分に気を付けてご参加ください
- イベントの様子をインターネット等に公開する場合があります
- 雨天中止です。当日の開催可否は主催者(携帯:090-2182-3883村田)までお問い合わせください
- みなさまお誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください

主催/NPO法人牧之原市体育協会 陸上競技部

(施策、イベント、行事等の名称) 第2回まきのはら健康大学 認知症予防講演会 「笑顔は忘れない！笑いと音楽の認知症予防！」		問い合わせ先 健康推進部健康推進課 担当：山村 電話：0548-23-0024（直通）
日 時	期日：令和元年 12 月 21 日（土） 時間：13：30～15：00	
場 所	牧之原市史料館	
主 催 者 又は担当課	健康推進部健康推進課	
(内容)		
現在、牧之原市の高齢化率は30%を超え、高齢者の増加に伴います認知症有病者が増えていくと予想されます。そのため、広く認知症についての知識や予防の普及するため、講演会を実施します。 講 師：お笑い理学療法士 ひなたていあおい 日向亭 葵 氏 38歳で理学療法士となり、その後日本でただ1人の「お笑い理学療法士」として独立。オリジナル体操「エアリハ」を考案し、全国で講演を行っている。笑っているうちに健康の話が学べると好評を博している。 参加費は無料で、誰でも講演会を傍聴できます。また、当日は手話通訳があります。		
(添付資料) 開催チラシ		

*** 第2回まきのはら健康大学 *** 認知症予防講演会

笑顔は忘れない！笑いと音楽の認知症予防



講師：お笑い理学療法士 **日向亭 葵氏**
ひなたてい あおい

奈良県出身、昭和43年生まれ。
天理大学英米学科を卒業後、海外ボランティア、サラリーマンを経て、38歳で理学療法士となる。2012年に日本でただ1人の「お笑い理学療法士」として独立。オリジナル体操「エアリハ」を考案し、全国600か所以上で講演を行っている。
痛みを笑いに変える独自の講演スタイルで、90分笑っているうちに健康の話が学べると講評を博している。

* 日時：令和元年12月21日(土) 13:30～15:00

* 会場：相良史料館(牧之原市相良275番地2)

* 定員：150名

手話通訳あり

参加料

無料

お申込み
お問い合わせ

牧之原市健康推進課

電話

0548-23-0024

FAX

0548-24-1005

まきのはら健康大学のお知らせ(会場：さざんか)

第3回 令和2年2月1日(土)13:30～ 口腔機能向上講演会(8020コンクール表彰式)

まきのはら健康大学申し込み

氏 名	住 所	電 話 番 号	希望の講座すべてに ○
			第1回(11/23) 第2回(12/21) 第3回(2/1)

テーマ 「暮らしの質を高める図書館」

～図書館が行うサービスや情報発信が暮らしを豊かに～

皆さんは「図書館」にどのようなイメージを持っていますか。

本棚が並び、図書を借りたり、静かに読書や勉強をしたりする場所。それだけの場所と思っている方も多いのではないのでしょうか。

図書館は、本の貸し出しだけでなく、人や情報の交流の場となったり、困りごとに応える課題解決の場となったりするなど、果たす役割の幅を広げています。

今回は、全国の図書館の新しいサービス事例にくわしい ARG (アカデミック・リソース・ガイド) の岡本真さんと、牧之原市教育委員で常葉大学非常勤講師の吉住幸子さんを講師に迎え、図書館が市民生活や文化レベルの向上、まちの課題解決などにどういう効果をもたらせるか、役割を果たせられるかなどについて、全国の事例を紹介しながら講演や意見交換を行います。

○令和元年 12 月 10 日(火) 14:00～16:00

○牧之原市史料館 2 階 ホール

○講師



アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役 プロデューサー **岡本真さん**

ヤフー株式会社にて Yahoo! 知恵袋の企画・設計を担当。退職後、アカデミック・リソース・ガイド株式会社を設立し、日本各地で文化施設のプロデュースに関わる。

著書に『未来の図書館、はじめます』（青弓社）ほか

牧之原市教育委員、常葉大学教育学部 図書館学 非常勤講師 **吉住幸子さん**

『市民の日常の役に立つ図書館』をモットーに、浜岡町立図書館（現 御前崎市立図書館）の建設立ち上げに携わり、図書館運営に精通している。

共著書に『図書館森時代！』（コミュニティ・ブックス）ほか

託児もあります。ご希望の方は事前にご連絡ください。

御参加いただける方は、お手数ですがお名前と連絡先を下記まで事前に御連絡ください。

【担当・問い合わせ・申し込み】



企画政策部秘書政策課（本間・加藤）

電話：0548-23-0052

E-Mail: seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

教育文化部社会教育課（水野・浅原）

電話：0548-53-2646

E-Mail: kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

(施策、イベント、行事等の名称)		問い合わせ先 まきのはら産業・地域活性化センター 担当：栗田 電話：0548-22-5600（直通）
日	時	令和 2 年 1 月 1 日（水） 午前 6 時 00 分から午前 7 時 30 分まで
場	所	さがらサンビーチ
主 催 者 又は担当課	一般社団法人まきのはら産業・地域活性化センター	
《趣旨》 今年一年の安全と幸福を祈願して行います。 《日程》 午前 6 時 00 分 甘酒配布(無料) 午前 6 時 15 分 メッセージ花火打ち上げ 午前 6 時 25 分 新年祝賀花火(サンライズスターマイン)打ち上げ 午前 6 時 30 分 神事 (出席者：市議会議員、自治会長、観光関係者ほか 市長、副市長、教育長、産業経済部長、当センター理事) 午前 6 時 54 分 日の出予定時刻 午前 7 時ごろ お清めした「さがらの海で採れた塩(500 袋)」を配布(無料) (神事終了後) <u>※メッセージ花火について</u> 初めての取り組みです。 応募者（広報まきのはら 11 月号で募集中）の中から抽選で 7 人の方が、一人ひとり、2020 年の抱負・願い事・祝い事などを大声で発したのち、花火(ミニスターマイン)を打ち上げます。		
(添付資料)		